



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～鍋屋上野浄水場で働く職員へのインタビュー～



■ 浄水場で水道水ができるまでの仕組みを教えてください

浄水場の多くは「急速ろ過」という浄水方法を取り入れています。これは川などから取り入れた水を、汚れを固める薬を入れて沈めた後、砂の層でろ過して細かいごみなどを取り除くという方法できれいにするものです。そして安全に飲めるように塩素で消毒をしてからみなさまのご家庭まで送っています。

■ どんなお仕事をされていますか？



鍋屋上野浄水場
旧第一ポンプ所

私は「緩速ろ過」という浄水方法を管理する仕事に携わっています。緩速ろ過池のろ過水量の管理や、ろ過能力を確保するための、砂の層の管理が主な仕事です。また、鍋屋上野浄水場ではお客さまの蛇口に届く前に経由する配水場やポンプ所も管理しており、浄水場を出た後の水道水にも気を配っています。

■ 苦労話や役得を聞かせてください

「緩速ろ過」は微生物の力も借りるなど、自然の浄化作用を利用した浄水方法です。そのため、微生物の管理が難しいなど、自分の思ったとおりにコントロールできないことには苦労します。一方、上下水道局でも「緩速ろ過」に携わることができる職員は限られているので、とても責任のある仕事をさせていただいていると感じています。

■ 市民のみなさまに伝えたいことはありますか？

名古屋市内には色々な所にご家庭の蛇口まで水を届けるための配水場やポンプ所があります。一部を除き（※）中に入ることはできませんが、散歩がてら探してみても面白いですよ。



東山給水塔

※平和公園アクアタワーは土・日・休日の 10:00～16:00 は見学可
(12/29～1/3 は休館)



鳴海配水塔



平和公園
アクアタワー

緩速ろ過池

鍋屋上野浄水場では「急速ろ過」の他に、薬品を使用せず自然の浄化作用を利用する「緩速ろ過」という浄水方法も取り入れています。これは砂の層をゆっくりと通過させることでゴミを取り除き、塩素で消毒をしてご家庭まで届けるもので、木曽川の水がきれいだからできる浄水方法です。

100年以上前から行われている浄水方法で、鍋屋上野浄水場の緩速ろ過池は全国でも有数の規模を誇っています。現在、緩速ろ過で作られる水道水は国内で約3%しかなく、希少な施設となっています。



鍋屋上野浄水場 緩速ろ過池